
7 品目別調査結果 桃

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識
6. 調査のまとめ

1. 概況

251

調査結果概要（1/3）

1. 各取引段階の“量”の変化

出荷段階

- 全国的に桃の出荷量が減少傾向にある中で、福島県産桃の出荷量は気象や病害の影響で減少した年があるものの、震災前の平成22年度から概ね維持されてきており、令和6年度の出荷量は平成22年度比の103%であった。

卸売段階

- 卸売市場における福島県産桃は、主に首都圏で取引されており、関西圏や札幌でも流通している。
- 名古屋市中心卸売市場と京都市中央卸売市場以外の市場において、福島県産桃は8月に市場シェア1位である。
 - 京都市中央卸売市場において、福島県産桃は7月に市場シェア1位である。
 - 一方、名古屋市中心卸売市場においては、年間を通して福島県産桃の流通量は少ない。

252

2. 各取引段階の“価格”の変化

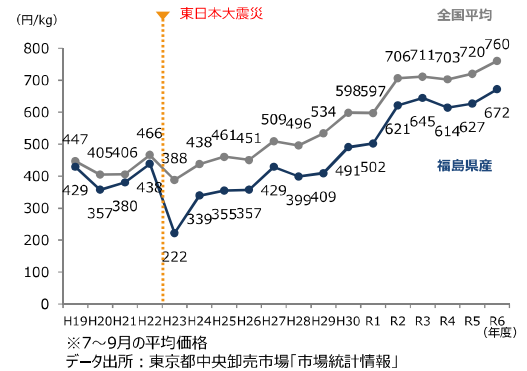
市場における 状況

- 東京都中央卸売市場における福島県産桃の価格は、震災直後に下落したものの、その後は概ね上昇を続けている。
- 全国平均との価格差が平成23年度に拡大した後、徐々に縮小傾向にあるが、依然、震災前よりも大きい価格差が残っている。

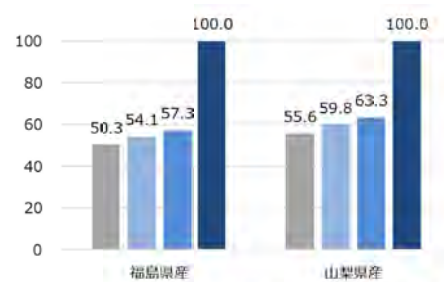
個別事例 における状況

- 福島県産と他県産を併売している小売業者から価格を入手した。
- 福島県産と山梨県産の価格形成を比較すると、小売業者が仕入れ値が異なる両産地産に同等の販売価格を設定していたことで差が見られたが、仲卸販売価格までの価格形成に違いは見られなかった。
- 小売業者によれば、出荷時期が早い山梨県産は、桃全体の出荷量が少ないことで引き合いが強くなる為、出荷時期に他産地産の出荷も多い福島県産と比較して多少仕入れ値が高くなる傾向にある。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



桃の価格形成事例



※数値は小売販売価格を100とした指数。
※産地収入とは集出荷業者の販売価格のことを指す。

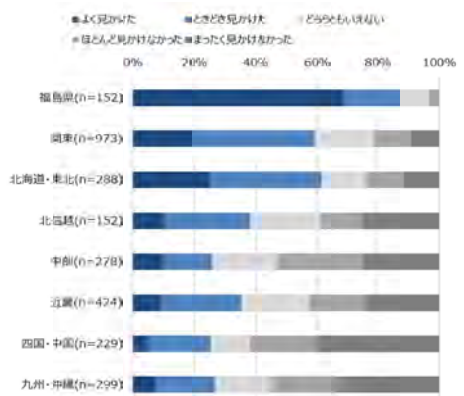
253

3. 福島県産品に対する認識

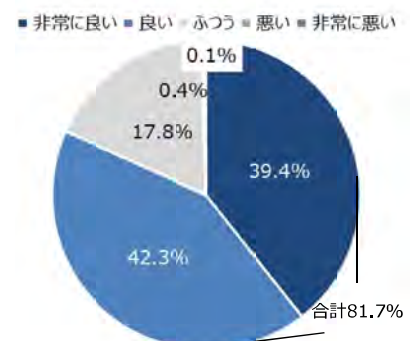
消費者への 調査

- 福島県産桃を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、北海道・東北を除いた他の地域では20%に満たない。
 - 福島県産桃を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では28.2%であった。
- 福島県産桃の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.7%であった。

福島県産桃を店頭で見かけたか



福島県産桃購入者の評価 (n= 1,126)



254

2. 調査実施概要

255

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産桃の購入実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	- 統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。 - 市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。	消費者の福島県産品の購入実態や評価を把握する。	- ヒアリングにより取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。 - 競合県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。
調査対象	- 政府統計 - 卸売市場データ	全国の消費者（4,000人）	- 百貨店またはスーパーで扱われた桃 - 福島県産以外に他県産も扱う事業者を対象に含める。
調査内容	- 福島県産桃の出荷量 - 卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移 - 卸売市場における取引価格の競合県産品との比較	- 福島県産桃を店頭で見かけた経験 - 福島県産桃の購入経験 - 桃購入時の重視点 - 福島県産桃の評価	流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。
各節との対応	各取引段階の“量”の変化 各取引段階の“価格”の変化	福島県産品に対する認識	各取引段階の“価格”の変化

256

各データを入手・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

概要調査
使用データ

- ・ 農林水産省「果樹生産出荷統計」
- ・ 首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ

アンケート
調査

- ・ 全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
 - 4,000件を回収し、分析を実施した。

追跡
調査

- ・ 首都圏の小売業者へ流通するルート：2ルート
 - うち1ルートでは競合県産の価格データも収集。
- ・ 福島県内の小売業者へ流通するルート：1ルート

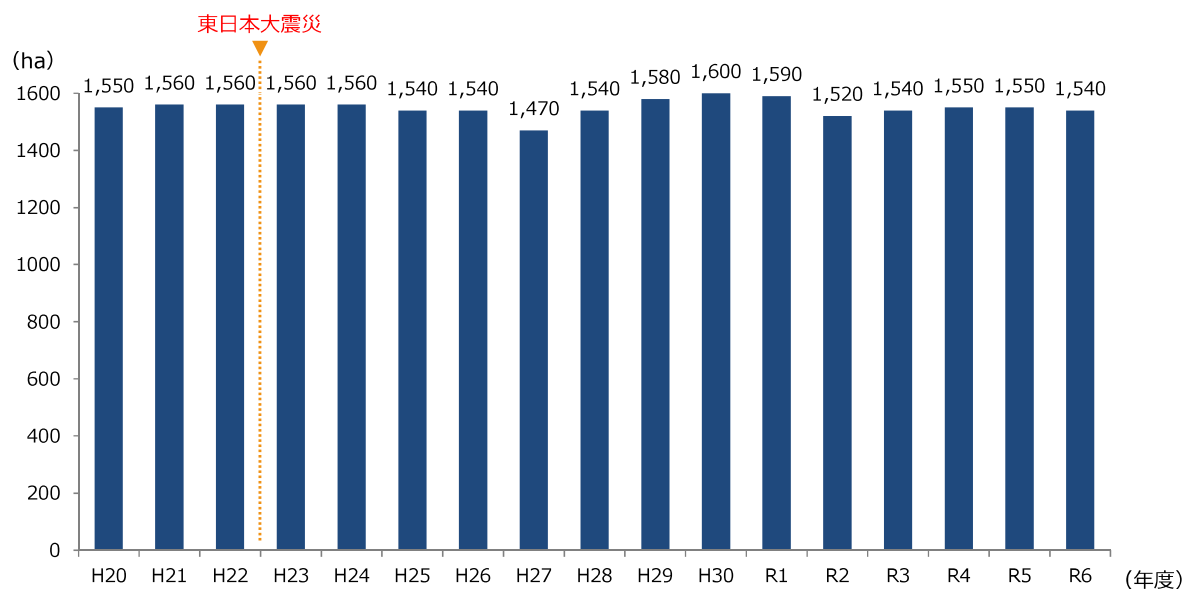
※追跡調査は個社が特定できないようにするとともに、実額を非公表とすることを前提に一部事業者から価格データを受領。 257

3. 各取引段階の“量”の変化

福島県産桃の結果樹面積の推移

震災以降、全国的に桃の結果樹面積が減少していく中、福島県産桃は平成27年度に減少しているものの、近年では震災前と同程度の水準を維持している。

福島県産桃の結果樹面積の推移



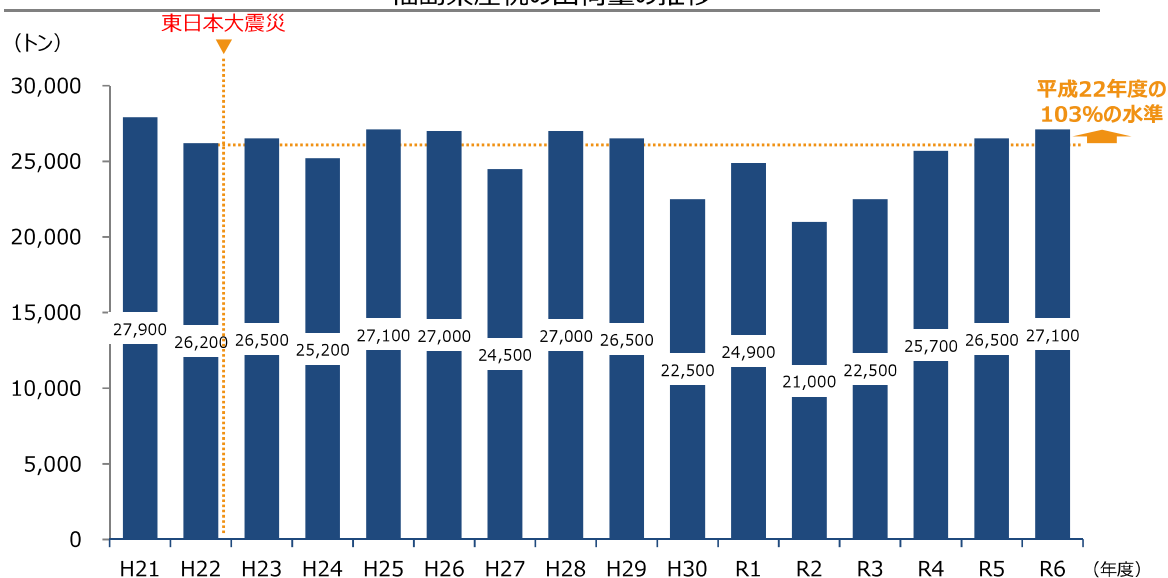
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

259

福島県産桃の出荷量の推移

福島県産桃の出荷量は震災以降、概ね横ばいに推移していた。令和2年度に出荷量が大きく減少したが、その後回復を続け、令和6年度における福島県産桃の出荷量は、平成22年度の103%となった。

福島県産桃の出荷量の推移



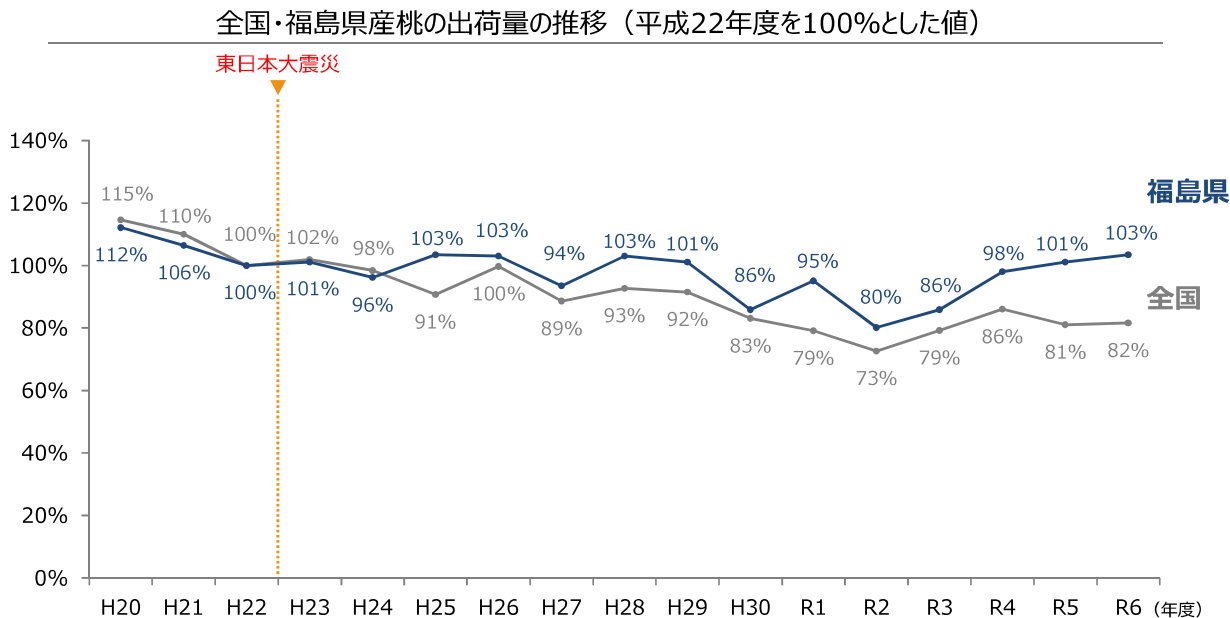
※令和2年度については、前年の台風による大雨の影響でももせん孔細菌病が発生したこと、7月の長雨、日照不足により果実の軟化が発生したこと等により、出荷量が減少した。

データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

260

福島県産桃の出荷量の推移

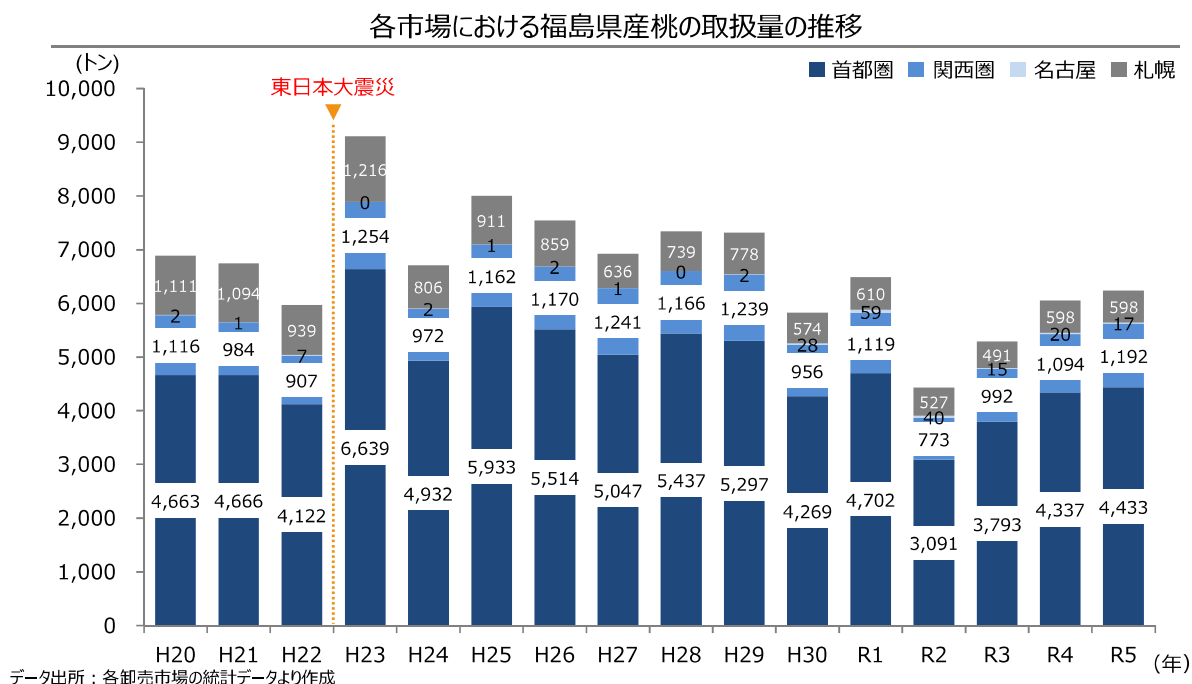
全国における桃の出荷量は減少傾向で、令和6年度は平成22年度の82%であった。一方、福島県産桃の出荷量は気象や病害の影響で減少した年があるものの、震災前の平成22年度から概ね維持されてきており、令和6年度は平成22年度の103%であった。



261

各市場における福島県産桃の取扱量の推移

福島県産桃は、主要地域卸売市場の中では主に首都圏で取引されており、関西圏や、札幌でも流通している。名古屋での取扱量は、震災前を含めても最大約59トンと僅かである。



262

各市場における桃の産地リレー(令和5年産・首都圏)

福島県産桃のシェアは東京都中央卸売市場では8月・9月、横浜市中心卸売市場では8月にシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	0%	0%	0%	3%	29%	48%	36%	40%	0%	0%	4,121
山梨	-	-	0%	100%	63%	91%	64%	24%	8%	0%	40%	6%	6,130
山形	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	15%	31%	51%	7%	0%	1,023
長野	-	-	0%	0%	4%	0%	2%	8%	5%	4%	0%	0%	518
青森	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	2%	8%	2%	0%	0%	194
総量	0	0	0	1	37	1,519	5,755	4,097	1,168	40	4	2	

横浜市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	9%	0%	29%	52%	27%	26%	-	-	312
山梨	-	-	-	-	1%	95%	70%	20%	3%	19%	-	-	430
山形	-	-	-	-	0%	0%	1%	24%	52%	55%	-	-	139
秋田	-	-	-	-	0%	0%	0%	3%	18%	0%	-	-	31
福岡	-	-	-	-	81%	4%	0%	0%	0%	0%	-	-	4
総量	0	0	0	0	0	87	397	321	111	2	0	0	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場における桃の産地リレー(令和5年産・関西圏)

大阪市中心卸売市場において、8月・10月に福島県産桃がシェア1位であった。京都市中央卸売市場では、7月にシェア1位であるが、流通量の大半は山梨県産である。

各市場における産地リレー(令和5年産)

大阪市中心卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	0%	0%	0%	13%	41%	26%	43%	0%	0%	1,124
山梨	-	-	-	100%	67%	58%	50%	23%	8%	1%	0%	0%	2,170
和歌山	-	-	-	0%	0%	36%	29%	7%	1%	0%	0%	0%	1,128
長野	-	-	-	0%	2%	0%	5%	18%	10%	13%	0%	0%	480
山形	-	-	-	0%	0%	0%	0%	6%	30%	43%	0%	0%	225
総量	0	0	0	1	40	945	2,317	1,743	393	5	1	1	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	0%	0%	35%	24%	0%	0%	-	-	67
山梨	-	-	-	-	100%	95%	33%	67%	98%	0%	-	-	214
長野	-	-	-	-	0%	0%	17%	8%	0%	0%	-	-	26
和歌山	-	-	-	-	0%	5%	14%	1%	0%	0%	-	-	14
山形	-	-	-	-	0%	0%	0%	1%	0%	0%	-	-	1
総量	0	0	0	0	0	68	72	173	10	0	0	0	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場における桃の産地リレー(令和5年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産桃の流通は僅かだった。札幌市中央卸売市場では、7月～9月に福島県産桃のシェアが1位になり、8月にシェアが最大となっている。

各市場における産地リレー(令和5年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	0%	0%	1%	1%	6%	0%	-	-	17
山梨	-	-	-	-	18%	55%	63%	29%	4%	1%	-	-	476
長野	-	-	-	-	3%	0%	20%	59%	60%	99%	-	-	467
愛知	-	-	-	-	16%	37%	16%	7%	17%	0%	-	-	157
山形	-	-	-	-	0%	0%	0%	0%	6%	0%	-	-	11
総量	0	0	0	0	4	58	474	481	139	6	0	0	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	1%	0%	58%	81%	58%	-	-	-	598
山梨	-	-	-	-	26%	90%	40%	8%	1%	-	-	-	166
青森	-	-	-	-	0%	0%	1%	9%	37%	-	-	-	71
福岡	-	-	-	-	61%	10%	0%	1%	0%	-	-	-	6
長野	-	-	-	-	0%	0%	0%	1%	2%	-	-	-	4
総量	0	0	0	0	1	20	262	511	58	0	0	0	

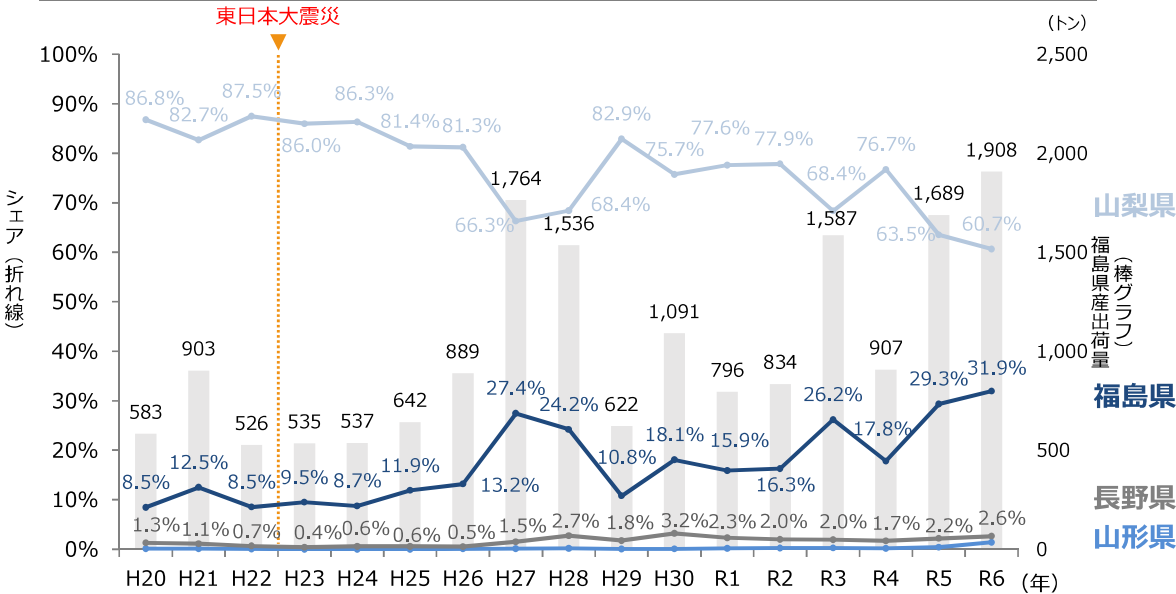
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産桃のシェアの推移(7月)

東京都中央卸売市場における7月の福島県産桃のシェアは拡大傾向にあり、令和6年のシェアは31.9%となっている。一方で、シェア1位である山梨県産のシェアは減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(7月)



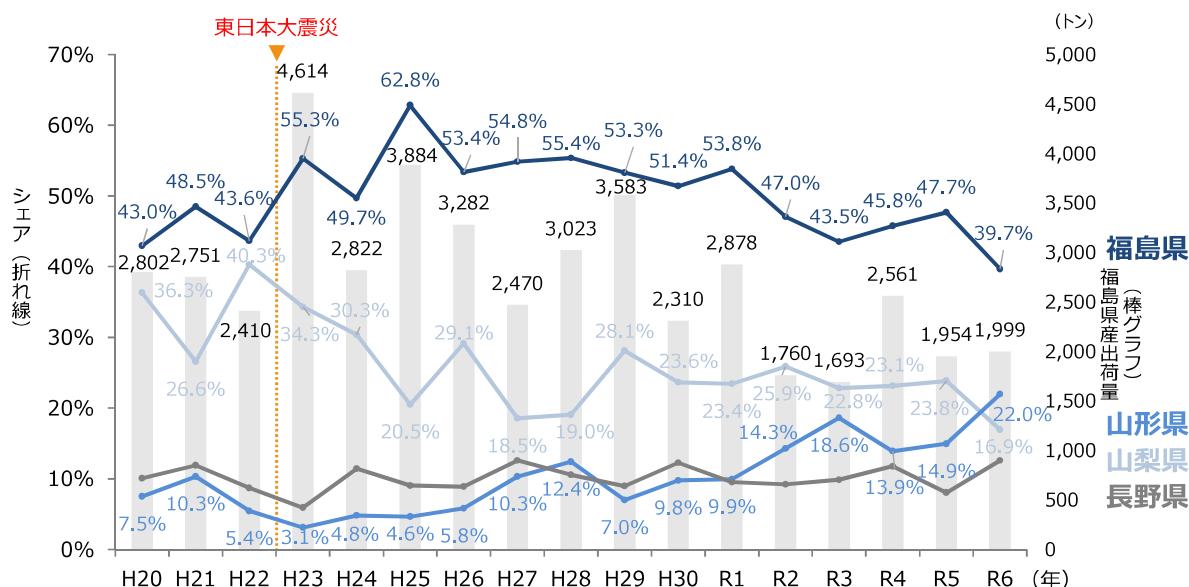
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※グラフ上の数値は、該当月のグラフ内でシェア上位の3都道府県のみ記載（山形県数値表示なし。）。

東京都中央卸売市場における福島県産桃のシェアの推移(8 月)

東京都中央卸売市場における 8 月の福島県産桃のシェアは、平成25年をピークに令和 5 年まで40%以上のシェア率を維持しており、シェア 1 位である。令和 6 年は40%を下回る水準となったが、シェア 1 位であることは変わらない。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(8 月)

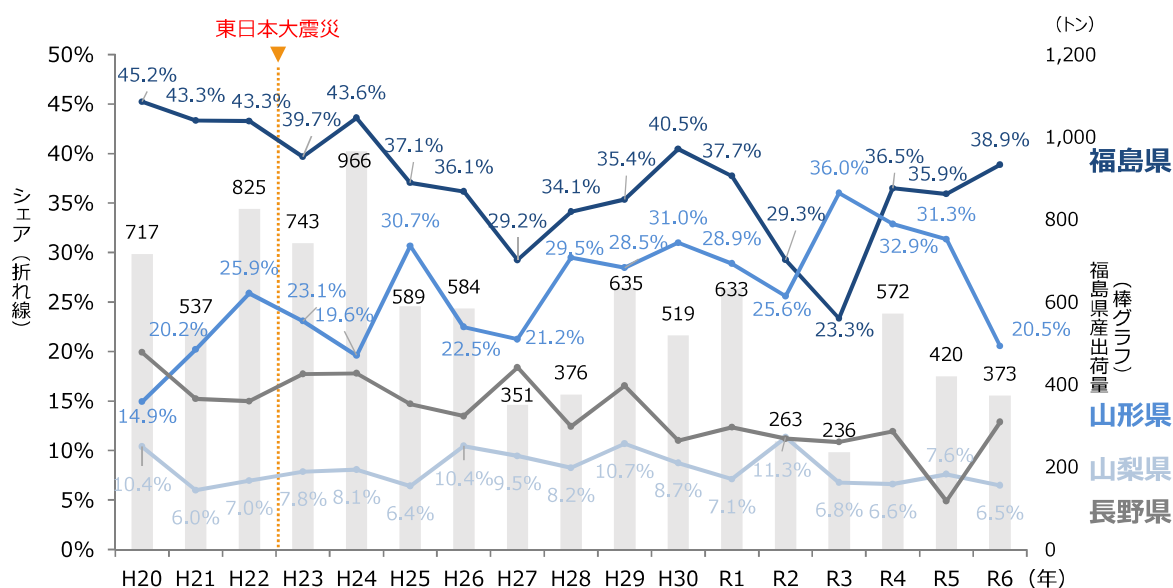


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※グラフ上の数値は、該当月のグラフ内でシェア上位の3都道府県のみ記載（長野県数値表示なし。）。 267

東京都中央卸売市場における福島県産桃のシェアの推移(9 月)

東京都中央卸売市場における 9 月の福島県産桃のシェアは、令和 3 年には23.3%まで落ち込み、山形県産が上回る形となったが、令和 4 年以降では再び福島県産のシェアが 1 位となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(9 月)

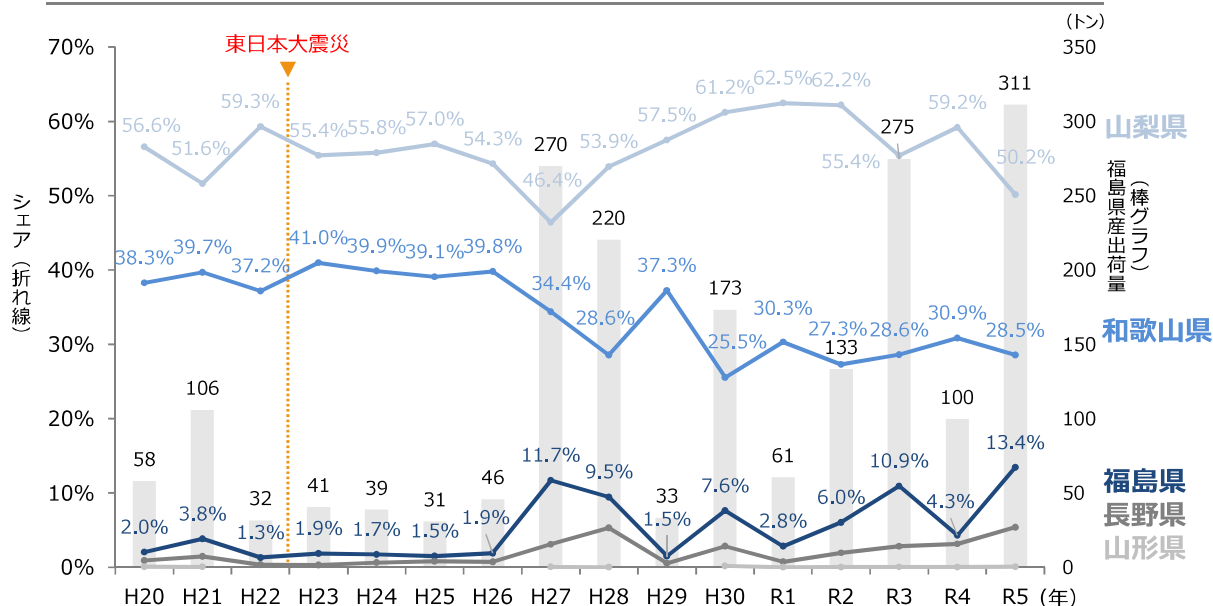


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※グラフ上の数値は、該当月のグラフ内でシェア上位の3都道府県のみ記載（長野県数値表示なし。）。 268

大阪市中央卸売市場における福島県産桃のシェアの推移(7 月)

大阪市中央卸売市場における 7 月の福島県産桃のシェアは、震災以前から総じて山梨県産や和歌山県産のシェアと大きく差が生じている。しかし、令和5年の福島県産のシェアは13.4%と平成20年以降最大となった。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(7 月)

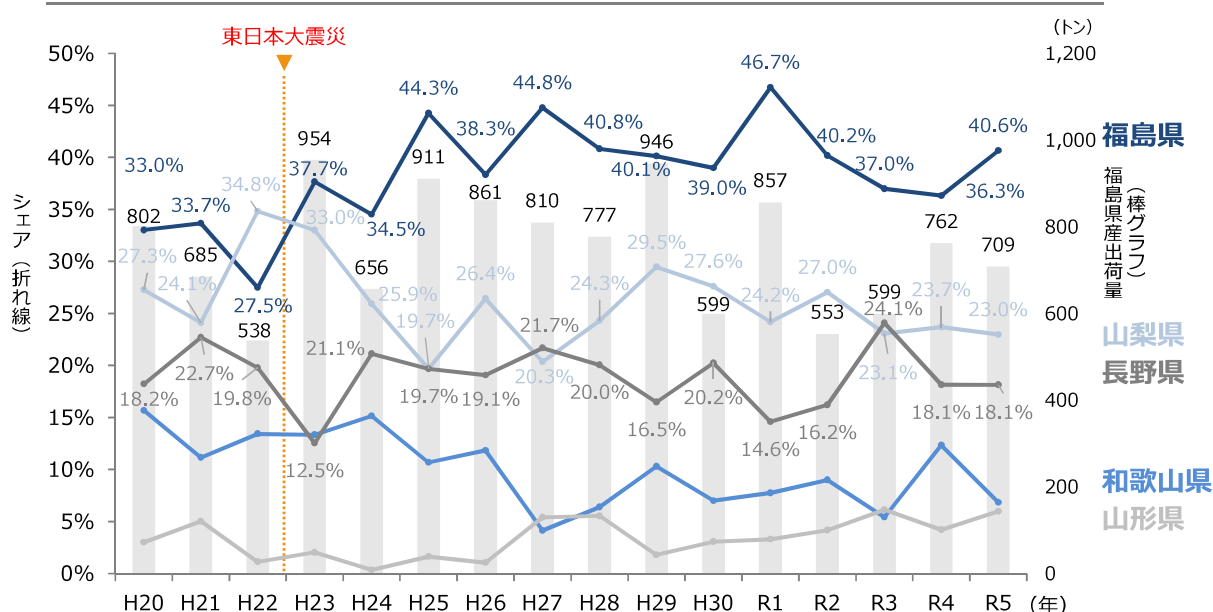


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」 ※グラフ上の数値は、該当月のグラフ内でシェア上位の3都道府県のみ記載（長野県、山形県数値表示なし。） 269

大阪市中央卸売市場における福島県産桃のシェアの推移(8 月)

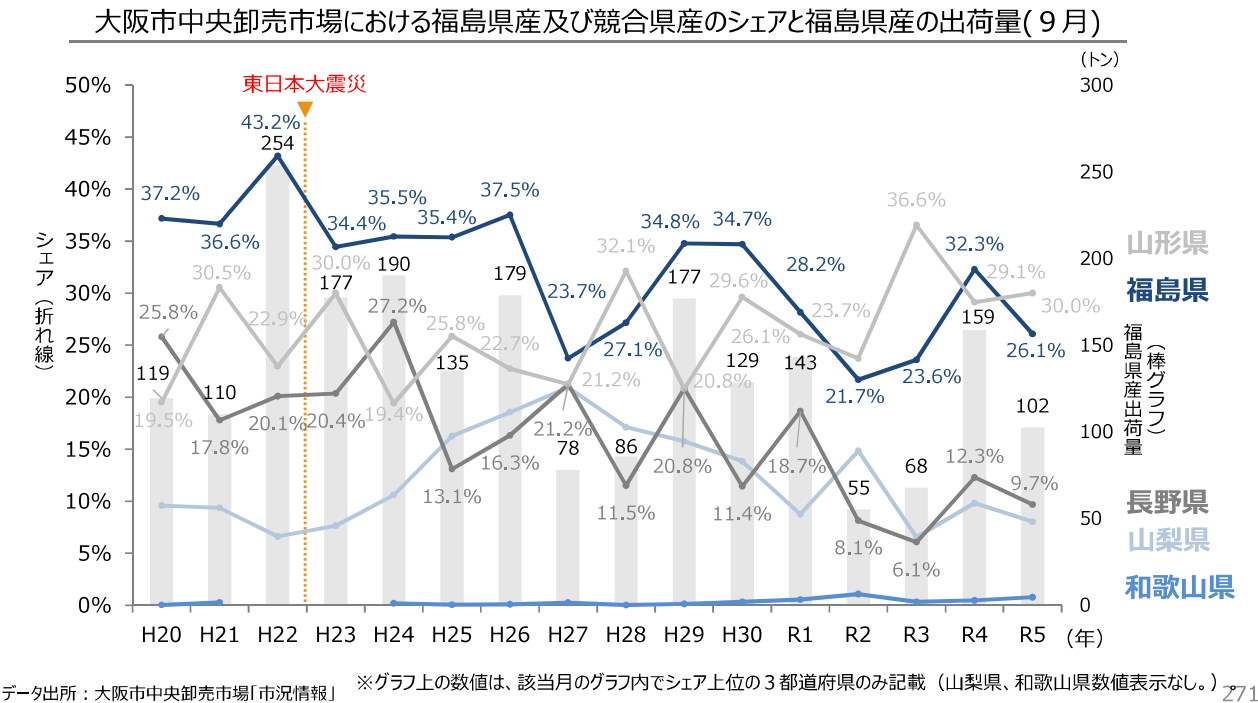
大阪市中央卸売市場における 8 月の福島県産桃のシェアは、震災後に拡大した。震災後はシェアが約40%で推移しており、引き続きシェア1位となっている。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(8 月)



データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」 ※グラフ上の数値は、該当月のグラフ内でシェア上位の3都道府県のみ記載（和歌山県、山形県数値表示なし。） 270

大阪市中心卸売市場における9月の福島県産桃のシェアは、震災前後で大きな変化はなかったが、総じて減少傾向となっている。



4. 各取引段階の“価格”の変化